
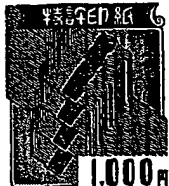


【書類名】 優先権証明請求書
【提出日】 平成15年10月10日
【あて先】 特許庁長官殿
【事件の表示】
【出願番号】 特願2002-383428
【請求人】
【識別番号】 500293076
【郵便番号】 328-0011
【住所又は居所】 栃木県栃木市大宮町2584番地
【氏名又は名称】 葛生 裕子 
【携帯電話番号】 090-7907-8488
【出願国名】 アメリカ合衆国
【証明に係る他の書類名】
【交付方法】 郵送

(1,400円)



BEST AVAILABLE COPY

特

特許第3427075号

表 示 部				
表示番号 (付記)	登 録 事 項			
1 番	出願年月日	平成14年12月19日	出願番号	2002-383428
	査定年月日	平成15年 3月27日	請求項の数	3
	発明の名称	ペット用爪切り		
	登録年月日 平成15年 5月 9日			
特 許 料 記 録 部				
国等以外の者の持分の割合、軽減、免除、猶予又は返還に関する事項				
免除の記事 第1年から第3年までの各年分の特許料は特許法第109条の規定により免除する				
甲 区				
順位番号 (付記)	登 録 事 項			
1 番	栃木県栃木市大宮町2584番地 XX葛生 雅之XX 登録年月日 平成15年 5月 9日			
付記1号	【職権更正】 葛生 裕子 原因 平成15年 7月 3日 錯誤発見 登録名義人の表示の更正 登録年月日 平成15年 7月 3日			
(以下余白)				

- 1 -

上記は特許登録原簿に記録されている事項と相違ないことを
 認証する。
 平成15年 8月27日

経済産業事務官 森岡 三良



特願 2002-383428

13/20 受付

(21,000円)

【書類名】 特許願

【整理番号】 YU, KUZU-26

【提出日】 平成14年12月19日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】

【発明の名称】 ペット用爪切り

【請求項の数】 3

【発明者】

【住所又は居所】 栃木県栃木市大宮町2584番地


【氏名】 葛生 雅之

【特許出願人】

【識別番号】 500298244

【郵便番号】 328-0011

【住所又は居所】 栃木県栃木市大宮町2584番地

【氏名又は名称】 葛生 雅之 

【提出物件の目録】

【物件名】	明細書	1
【物件名】	図面	1
【物件名】	要約書	1

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ペット用爪切り

【特許請求の範囲】

【請求項１】犬猫等のペットの爪を切る爪切りで、球形を直線で二等分に分割し、二等分に分割した球形を更に直線で二等分に分割し、その四等分に分割した球形の内側を削り貫いた刃体Ａを造り、又は、楕円体を直線で二等分に分割し、二等分に分割した楕円体を更に直線で二等分に分割し、その四等分に分割した楕円体の内側を削り貫いた刃体Ａを造り、刃体Ａの片方の縁を刃Ｂに加工し、刃Ｂに加工した縁の反対側の刃体Ａの縁にピン穴Ｄが有る円筒形Ｃを取り付け、２個の刃体Ａの刃Ｂを向き合わせて接触して左右一対で組み、左右一対のピン穴ＤにピンＨを通し、左右一対の円筒形ＣのピンＨを繋ぐ板Ｊの両端にピン穴を一対開け、板Ｊの一対のピン穴に一対のピンＨを通して取り付け、刃体ＡがピンＨを中心にして回転の開閉の往復運動ができ、刃体ＡがピンＨを中心に回転の開閉の往復運動することで、刃体Ａの刃Ｂの間に有るペットの爪を切ることができる、以上のことを特徴とするペット用爪切り。

【請求項２】犬猫等のペットの爪を切る爪切りで、球形を直線で二等分に分割し、二等分に分割した球形を更に直線で二等分に分割し、その四等分に分割した球形の内側を削り貫いた刃体Ａを造り、刃体Ａの片方の縁を刃Ｂに加工し、刃Ｂに加工した縁の反対側の刃体Ａの縁に板Ｇを取り付け、板Ｇの刃体Ａの円弧の内側を切り取り、刃体Ａの円弧の内側を切り取った反対側の板Ｇの縁にピン穴Ｄが有る円筒形Ｃを取り付け、２個の刃体Ａの刃Ｂを向き合わせて接触して左右一対で組み、左右一対のピン穴ＤにピンＨを通し、左右一対の円筒形ＣのピンＨを繋ぐ板Ｊの両端にピン穴を一対開け、板Ｊの一対のピン穴に一対のピンＨを通して取り付け、板Ｊは左右の円筒形Ｃの両側に一対で取り付け、刃Ｂを向き合わせて組んだ一対の刃体ＡはピンＨを中心にして回転できるようにし、部材Ｅを刃体Ａに取り付け、又は部材Ｅを円筒形Ｃに取り付け、又は部材Ｅを刃体Ａ及び円筒形Ｃに取り付けて、部材Ｅにピン穴Ｆを開け、左右一対の部材ＥがピンＨを中心にして回転の開閉の往復運動することで、一対の刃体ＡがピンＨを中心にして回転の開閉の往復運動をできるようにし、一対の刃体ＡがピンＨを中心に回転の開閉の

往復運動することで、一对の刃体Aの刃Bの間に有るペットの爪を切ることができ、一对の部材EがピンHを中心に回転の開閉の往復運動をさせるための作動部材Lの端にピン穴を開け、部材Eと作動部材LにピンKを取り付けて、部材Eと作動部材Lを左右2カ所の一对で接続し、二本の作動部材Lを両端の間で交差し、作動部材Lが交差した所に開閉中心軸Mを取り付け、作動部材Lと部材EをピンKで接続した作動部材Lの反対側に握り部Nを造り、作動部材Lの握り部Nが開閉中心軸Mを中心に回転の開閉の往復運動することで、作動部材Lに取り付けた部材EがピンHを中心に回転の開閉の往復運動し、作動部材LをピンKと開閉中心軸Mとの間で切断し、作動部材Lの開閉中心軸Mを中心にして回転の開閉の往復運動方向に対して直角の方向に切断した二つの作動部材Lが動くように作動部材Lを重ねて蝶ネジPを取り付けて接続し、蝶ネジPの操作で切断した二つの作動部材Lを好みの角度で固定でき、刃体A、部材E、板J、円筒形C及び作動部材LのピンKを取り付けた先端部を包み込む箱Qを取り付け、箱Qの表面に長方形の穴を開け、箱Qの長方形の穴の大きさは板Gの回りの円筒形Cと板Jとの外周と同じ大きさ、箱Qに切断した爪を入れる収納部Rを取り付け、及び作動部材LのピンKを取り付けた先端部が回転の開閉の往復運動するための溝Sを箱Qの表面に一对開け、箱Qを取り外しがしやすいように、箱Qを二分割し、二分割した箱Qを結合するための結合式を取り付け、作動部材Lの握り部Nが開閉中心軸Mを中心に回転の開閉の往復運動することで、一对の刃体AがピンHを中心に回転の開閉の往復運動し、一对の刃体Aの刃Bの間に有るペットの爪を切ることができる、以上のことを特徴とするペット用爪切り。

【請求項3】犬猫等のペットの爪を切る爪切りで、楕円体を直線で二等分に分割し、二等分に分割した楕円体を更に直線で二等分に分割し、その四等分に分割した楕円体の内側を削り貫いた刃体Aを造り、刃体Aの片方の縁を刃Bに加工し、刃Bに加工した縁の反対側の刃体Aの縁に板Gを取り付け、板Gの刃体Aの円弧の内側を切り取り、刃体Aの円弧の内側を切り取った反対側の板Gの縁にピン穴Dが有る円筒形Cを取り付け、2個の刃体Aの刃Bを向き合わせて接触して左右一对で組み、左右一对のピン穴DにピンHを通し、左右一对の円筒形CのピンHを繋ぐ板Jの両端にピン穴を一对開け、板Jの一对のピン穴に一对のピンH

を通して取り付け、板 J は左右の円筒形 C の両側に一対で取り付け、刃 B を向き合わせて組んだ一対の刃体 A はピン H を中心にして回転できるようにし、部材 E を刃体 A に取り付け、又は部材 E を円筒形 C に取り付け、又は部材 E を刃体 A 及び円筒形 C に取り付けて、部材 E にピン穴 F を開け、左右一対の部材 E がピン H を中心に回転の開閉の往復運動することで、一対の刃体 A がピン H を中心にして回転の開閉の往復運動をできるようにし、一対の刃体 A がピン H を中心に回転の開閉の往復運動することで、一対の刃体 A の刃 B の間に有るペットの爪を切ることができ、一対の部材 E がピン H を中心に回転の開閉の往復運動をさせるための作動部材 L の端にピン穴を開け、部材 E と作動部材 L にピン K を取り付けて、部材 E と作動部材 L を左右 2 カ所の一対で接続し、二本の作動部材 L を両端の間で交差し、作動部材 L が交差した所に開閉中心軸 M を取り付け、作動部材 L と部材 E をピン K で接続した作動部材 L の反対側に握り部 N を造り、作動部材 L の握り部 N が開閉中心軸 M を中心に回転の開閉の往復運動することで、作動部材 L に取り付けた部材 E がピン H を中心に回転の開閉の往復運動し、作動部材 L をピン K と開閉中心軸 M との間で切断し、作動部材 L の開閉中心軸 M を中心にして回転の開閉の往復運動方向に対して直角の方向に切断した二つの作動部材 L が動くように作動部材 L を重ねて蝶ネジ P を取り付けて接続し、蝶ネジ P の操作で切断した二つの作動部材 L を好みの角度で固定でき、刃体 A、部材 E、板 J、円筒形 C 及び作動部材 L のピン K を取り付けた先端部を包み込む箱 Q を取り付け、箱 Q の表面に長方形の穴を開け、箱 Q の長方形の穴の大きさは板 G の回りの円筒形 C と板 J との外周と同じ大きさ、箱 Q に切断した爪を入れる収納部 R を取り付け、及び作動部材 L のピン K を取り付けた先端部が回転の開閉の往復運動するための溝 S を箱 Q の表面に一対開け、箱 Q を取り外しがしやすいように、箱 Q を二分割し、二分割した箱 Q を結合するための結合式を取り付け、作動部材 L の握り部 N が開閉中心軸 M を中心に回転の開閉の往復運動することで、一対の刃体 A がピン H を中心に回転の開閉の往復運動し、一対の刃体 A の刃 B の間に有るペットの爪を切ることができる、以上のことを特徴とするペット用爪切り。

【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】

犬猫等のペットの爪切りの技術。

【0002】

【従来の技術】

ペット用の爪切りで爪を切ると、爪の回りが角張って切れ、爪が引っ掛かる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

一回の爪切りで、爪先の回りを丸く滑らかに切れるようにする。

【0004】

【課題を解決するための手段】

四等分に分割した球形又は楕円体の内側を削り貫いた刃体Aを造り、刃体Aの片方の縁を刃Bに加工し、刃Bに加工した縁の反対側の刃体Aの縁にピン穴Dが有る円筒形Cを取り付け、2個の刃体Aの刃Bを向き合わせて接触して左右一対で組み、左右一対のピン穴DにピンHを通し、左右一対の円筒形CのピンHを繋ぐ板Jの両端にピン穴を一対開け、板Jの一対のピン穴に一対のピンHを通して取り付け、刃体AがピンHを中心にして回転の開閉の往復運動ができ、刃体AがピンHを中心に回転の開閉の往復運動することで、刃体Aの刃Bの間に有るペットの爪を切ることができる、以上のことを特徴とするペット用爪切り。

【0005】

【発明の実施の形態】

犬猫等のペットの爪を切る爪切りで、球形を直線で二等分に分割し、二等分に分割した球形を更に直線で二等分に分割し、その四等分に分割した球形の内側を削り貫いた金属等で造られた刃体Aを造り、又は、楕円体を直線で二等分に分割し、二等分に分割した楕円体を更に直線で二等分に分割し、その四等分に分割した楕円体の内側を削り貫いた金属等で造られた刃体Aを造り、刃体Aの片方の縁を刃Bに加工し、刃Bに加工した縁の反対側の刃体Aの縁にピン穴Dが有る金属等で造られた円筒形Cを取り付け、2個の刃体Aの刃Bを向き合わせて接触して左右一対で組み、左右一対のピン穴Dに金属等で造られたピンHを通し、左右一対の円筒形CのピンHを繋ぐ板Jの両端にピン穴を一対開け、金属等で造られた

板 J の一對のピン穴に一對のピン H を通して取り付け、刃体 A がピン H を中心にして回転の開閉の往復運動ができ、刃体 A がピン H を中心に回転の開閉の往復運動することで、刃体 A の刃 B の間に有るペットの爪を切ることができる、以上のことを特徴とするペット用爪切り。

【0006】

犬猫等のペットの爪を切る爪切りで、球形を直線で二等分に分割し、二等分に分割した球形を更に直線で二等分に分割し、その四等分に分割した球形の内側を削り貫いた刃体 A を金属等で造り、又は、楕円体を直線で二等分に分割し、二等分に分割した楕円体を更に直線で二等分に分割し、その四等分に分割した楕円体の内側を削り貫いた刃体 A を金属等で造り、刃体 A の片方の縁を刃 B に加工し、刃 B に加工した縁の反対側の刃体 A の縁に金属等で造った板 G を取り付け、板 G の刃体 A の円弧の内側を切り取り、刃体 A の円弧の内側を切り取った反対側の板 G の縁にピン穴 D が有る金属等で造った円筒形 C を取り付け、2 個の刃体 A の刃 B を向き合わせて接触して左右一對で組み、左右一對のピン穴 D に金属等で造ったピン H を通し、左右一對の円筒形 C のピン H を繋ぐ板 J の両端にピン穴を一對開け、板 J の一對のピン穴に一對のピン H を通して取り付け、金属等で造った板 J は左右の円筒形 C の両側に一對で取り付け、刃 B を向き合わせて組んだ一對の刃体 A はピン H を中心にして回転できるようにし、部材 E を刃体 A に取り付け、又は部材 E を円筒形 C に取り付け、又は部材 E を刃体 A 及び円筒形 C に取り付けて、部材 E にピン穴 F を開け、左右一對の部材 E がピン H を中心に回転の開閉の往復運動することで、一對の刃体 A がピン H を中心にして回転の開閉の往復運動をできるようにし、一對の刃体 A がピン H を中心に回転の開閉の往復運動することで、一對の刃体 A の刃 B の間に有るペットの爪を切ることができ、一對の部材 E がピン H を中心に回転の開閉の往復運動をさせるための金属等で造った作動部材 L の端にピン穴を開け、部材 E と作動部材 L に金属等で造ったピン K を取り付けて、部材 E と作動部材 L を左右 2 カ所の一對で接続し、二本の作動部材 L を両端の間で交差し、作動部材 L が交差した所に金属等で造った開閉中心軸 M を取り付け、作動部材 L と部材 E をピン K で接続した作動部材 L の反対側に握り部 N を造り、作動部材 L の握り部 N が開閉中心軸 M を中心に回転の開閉の往復運動する

ことで、作動部材Lに取り付けた部材EがピンHを中心に回転の開閉の往復運動し、作動部材LをピンKと開閉中心軸Mとの間で切断し、作動部材Lの開閉中心軸Mを中心にして回転の開閉の往復運動方向に対して直角の方向に切断した二つの作動部材Lが動くように作動部材Lを重ねて金属等で造った蝶ネジPを取り付けて接続し、蝶ネジPの操作で切断した二つの作動部材Lを好みの角度で固定でき、刃体A、部材E、板J、円筒形C及び作動部材LのピンKを取り付けた先端部を包み込む箱Qを取り付け、高分子化合物等で造られた切断した爪の飛散防止の箱Qの表面に長方形の穴を開け、箱Qの長方形の穴の大きさは板Gの回りの円筒形Cと板Jとの外周と同じ大きさ、箱Qに切断した爪を入れる収納部Rを取り付け、及び作動部材LのピンKを取り付けた先端部が回転の開閉の往復運動するための溝Sを箱Qの表面に一对開け、箱Qを本発明のペット用爪切りから取り外しがしやすいように、箱Qを二分割し、二分割した箱Qを結合するための結合式を取り付け、作動部材Lの握り部Nが開閉中心軸Mを中心に回転の開閉の往復運動することで、一对の刃体AがピンHを中心に回転の開閉の往復運動し、一对の刃体Aの刃Bの間に有るペットの爪を切ることができる、以上のことを特徴とするペット用爪切り。

【0007】

【実施例】

本発明の第1の実施例を示す。直径9mmの球形を直線で二等分に分割し、二等分に分割した球形を更に直線で二等分に分割し、その四等分に分割した球形の内側を削り貫いた刃体Aを金属で造り、刃体Aの肉厚は1mm、刃体Aの片方の縁を刃Bに加工し、刃Bに加工した縁の反対側の刃体Aの縁に金属で造った板Gを取り付け、板Gの刃体Aの円弧の内側を切り取り、刃体Aの円弧の内側を切り取った反対側の板Gの縁に直径1.5mmのピン穴Dが有る金属で造った直径3.5mmの円筒形Cを取り付け、2個の刃体Aの刃Bを向き合わせて接触して左右一对で組み、左右一对のピン穴Dに金属で造った直径1.5mmのピンHを通し、左右一对の円筒形CのピンHを繋ぐ高さ3.5mmで幅は3mmの板Jの両端に直径1.5mmのピン穴を一对開け、板Jの一对のピン穴に一对のピンHを通して取り付け、金属で造った板Jは左右の円筒形Cの両側に一对で取り付け、刃Bを向き合わせ

て組んだ一対の刃体AはピンHを中心にして回転できるようにし、2個の部材Eを刃体A及び円筒形Cに取り付け、部材Eに直径1.5mmのピン穴Fを開け、左右一対の部材EがピンHを中心に回転の開閉の往復運動することで、一対の刃体AがピンHを中心にして回転の開閉の往復運動をできるようにし、一対の刃体AがピンHを中心に回転の開閉の往復運動することで、一対の刃体Aの刃Bの間に有るペットの爪を切ることができ、一対の部材EがピンHを中心に回転の開閉の往復運動をさせるための金属で造った作動部材Lの端に直径1.5mmのピン穴を開け、部材Eと作動部材Lに金属で造った直径1.5mmのピンKを取り付けて、部材Eと作動部材Lを左右2カ所の一対で接続し、二本の作動部材Lを両端の間で交差し、作動部材Lが交差した所に金属で造った直径5mmの開閉中心軸Mを取り付け、作動部材Lと部材EをピンKで接続した作動部材Lの反対側に握り部Nを造り、作動部材Lの握り部Nが開閉中心軸Mを中心にして回転の開閉の往復運動することで、作動部材Lに取り付けた部材EがピンHを中心に回転の開閉の往復運動し、作動部材LをピンKと開閉中心軸Mとの間で切断し、作動部材Lの開閉中心軸Mを中心にして回転の開閉の往復運動方向に対して直角の方向に切断した二つの作動部材Lが動くように作動部材Lを重ねて金属で造った直径4mmの蝶ネジPを取り付けて接続し、蝶ネジPの操作で切断した二つの作動部材Lを好みの角度で固定でき、刃体A、部材E、板J、円筒形C及び作動部材LのピンKを取り付けた先端部を包み込む箱Qを取り付け、透明プラスチックで造られた切断した爪の飛散防止の箱Qの表面に長方形の穴を開け、箱Qの長方形の穴の大きさは板Gの回りの円筒形Cと板Jとの外周と同じ大きさ、箱Qに切断した爪を入れる収納部Rを取り付け、及び作動部材LのピンKを取り付けた先端部が回転の開閉の往復運動するための溝Sを箱Qの表面に一対開け、箱Qを本発明のペット用爪切りから取り外しがしやすいように、箱Qを二分割し、二分割した箱Qを結合するためのフック結合式を取り付け、作動部材Lの握り部Nが開閉中心軸Mを中心にして回転の開閉の往復運動することで、一対の刃体AがピンHを中心に回転の開閉の往復運動し、一対の刃体Aの刃Bの間に有るペットの爪を切ることができる、以上のことを特徴とするペット用爪切り。

本発明の第2の実施例を示す。楕円体を直線で二等分に分割し、二等分に分割した楕円体を更に直線で二等分に分割し、その四等分に分割した楕円体の内側を削り貫いた刃体Aを金属で造り、楕円体の長軸は10mmで短軸は7mmで肉厚は1mm、刃体Aの片方の縁を刃Bに加工し、刃Bに加工した縁の反対側の刃体Aの縁に金属で造った板Gを取り付け、板Gの刃体Aの円弧の内側を切り取り、刃体Aの円弧の内側を切り取った反対側の板Gの縁に直径1.5mmのピン穴Dが有る金属で造った直径3.5mmの円筒形Cを取り付け、2個の刃体Aの刃Bを向き合わせて接触して左右一対で組み、左右一対のピン穴Dに金属で造った直径1.5mmのピンHを通し、左右一対の円筒形CのピンHを繋ぐ高さ3.5mmで幅は3mmの板Jの両端に直径1.5mmのピン穴を一対開け、板Jの一対のピン穴に一対のピンHを通して取り付け、金属で造った板Jは左右の円筒形Cの両側に一対で取り付け、刃Bを向き合わせて組んだ一対の刃体AはピンHを中心にして回転できるようにし、2個の部材Eを刃体A及び円筒形Cに取り付け、部材Eに直径1.5mmのピン穴Fを開け、左右一対の部材EがピンHを中心にして回転の開閉の往復運動することで、一対の刃体AがピンHを中心にして回転の開閉の往復運動をできるようにし、一対の刃体AがピンHを中心にして回転の開閉の往復運動することで、一対の刃体Aの刃Bの間に有るペットの爪を切ることができ、一対の部材EがピンHを中心にして回転の開閉の往復運動をさせるための金属で造った作動部材Lの端に直径1.5mmのピン穴を開け、部材Eと作動部材Lに金属で造った直径1.5mmのピンKを取り付けて、部材Eと作動部材Lを左右2カ所の一対で接続し、二本の作動部材Lを両端の間で交差し、作動部材Lが交差した所に金属で造った直径5mmの開閉中心軸Mを取り付け、作動部材Lと部材EをピンKで接続した作動部材Lの反対側に握り部Nを造り、作動部材Lの握り部Nが開閉中心軸Mを中心にして回転の開閉の往復運動することで、作動部材Lに取り付けた部材EがピンHを中心にして回転の開閉の往復運動し、作動部材LをピンKと開閉中心軸Mとの間で切断し、作動部材Lの開閉中心軸Mを中心にして回転の開閉の往復運動方向に対して直角の方向に切断した二つの作動部材Lが動くように作動部材Lを重ねて金属で造った直径4mmの蝶ネジPを取り付けて接続し、蝶ネジPの操作で切断した二つの作動部材Lを好みの角度で固定でき、刃体A、部材E、板J、円筒形C及び作

動部材 L のピン K を取り付けた先端部を包み込む箱 Q を取り付け、透明プラスチックで造られた切断した爪の飛散防止の箱 Q の表面に長方形の穴を開け、箱 Q の長方形の穴の大きさは板 G の回りの円筒形 C と板 J との外周と同じ大きさ、箱 Q に切断した爪を入れる収納部 R を取り付け、及び作動部材 L のピン K を取り付けた先端部が回転の開閉の往復運動するための溝 S を箱 Q の表面に一对開け、箱 Q を本発明のペット用爪切りから取り外しがしやすいように、箱 Q を二分割し、二分割した箱 Q を結合するためのフック結合式を取り付け、作動部材 L の握り部 N が開閉中心軸 M を中心に回転の開閉の往復運動することで、一对の刃体 A がピン H を中心に回転の開閉の往復運動し、一对の刃体 A の刃 B の間に有るペットの爪を切ることができる、以上のことを特徴とするペット用爪切り。

【 0 0 0 9 】

【発明の効果】

一回の爪切りで、爪の回りを丸く滑らかに切れ、爪先が丸くなる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

第 1 及び第 2 の実施例のペット用爪切り。

【図 2】

第 1 及び第 2 の実施例のペット用爪切り。切断した爪の飛散防止の箱 Q 無し。

【図 3】

第 1 及び第 2 の実施例のペット用爪切り。切断した爪の飛散防止の箱 Q を取り付けた。

【符号の説明】

A : 刃体、 B : 刃体 A の刃、 C : 円筒形、 D : ピン穴、 E : 部材、
F : ピン穴、 G : 板、 H : ピン、 J : 円筒形 C のピン H を繋ぐ板、 K :
ピン、 L : 部材 E がピン H を中心に回転の開閉の往復運動をさせるための作動
部材、 M : 開閉中心軸、 N : 作動部材 L の握り部、 P : 角度調整用の蝶ネ
ジ、 Q : 切断した爪の飛散防止の高分子化合物等で造られた箱、 S : 箱 Q の
表面に開けた一对の溝、 R : 箱 Q に取り付けた切断した爪を入れる収納部

【書名】 要約書

【要約】

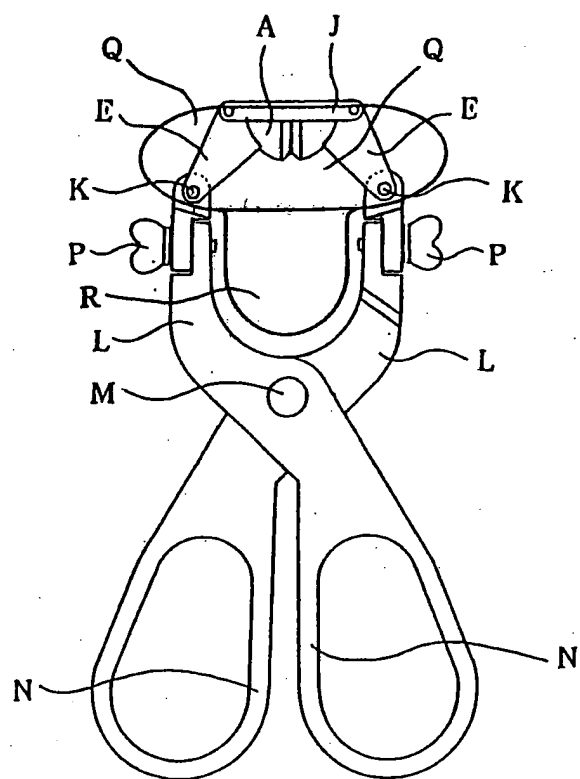
【課題】 一回の爪切りで、爪先の回りを丸く滑らかに切れるようにする。

【解決の手段】 四等分に分割した球形又は楕円体の内側を削り貫いた刃体Aを造り、刃体Aの片方の縁を刃Bに加工し、刃Bに加工した縁の反対側の刃体Aの縁にピン穴Dが有る円筒形Cを取り付け、2個の刃体Aの刃Bを向き合わせて接触して左右一対で組み、左右一対のピン穴DにピンHを通し、左右一対の円筒形CのピンHを繋ぐ板Jの両端にピン穴を一対開け、板Jの一対のピン穴に一対のピンHを通して取り付け、刃体AがピンHを中心にして回転の開閉の往復運動ができ、刃体AがピンHを中心にして回転の開閉の往復運動することで、刃体Aの刃Bの間に有るペットの爪を切ることができる、以上のことを特徴とするペット用爪切り。一回の爪切りで、爪の回りを丸く滑らかに切れ、爪先が半球形になるようにする。

【選択図】 図2

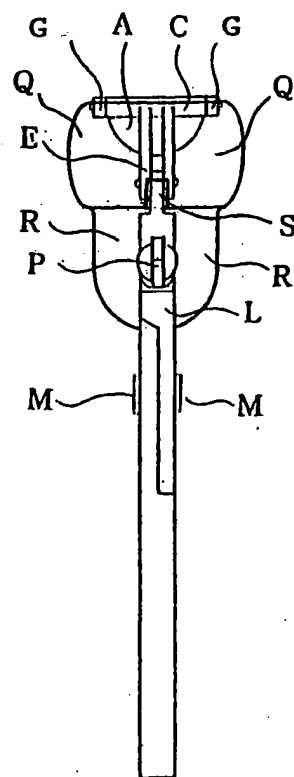
【書類名】 図面

【図 3】



立面図

FIG. 3B



側面図